

にしもろ基幹相談支援センター研修

12月14日(木)、西諸エリアの福祉関係者等を対象に研修会を開催致しました。

講師に障がい者雇用という形で障がい者の社会参加に尽力されてきた「虹色ガーデン美胡」の経営者をお招きし、障がいのある方が地域社会で共生する為に、我々支援者にはどんな役割が必要なのか等のお話をいただきました。

当日は、小林市議、福祉事業所職員、支援学校教諭、農業関係者等多くの方々に参加いただき、小さな会場がいっぱいになりました。

講演では、福祉業界で働いていた経験を活かし農業を通して福祉支援に孤軍奮闘されてきたこれまでの支援内容の紹介や、ビジネスと福祉の両輪をうまくバランス取る事の難しさ等についてお話いただきました。



今後この地域にもっともっと福祉に関心を示す方々が増える事を期待して、当センターではこれからもそういった方々のご活躍を応援していきたいと思っております。

今回研修に参加していただいた皆様、お忙しい中ご参加ありがとうございました。

研修に参加していただいた方々の感想を少しご紹介

・「働く楽しさを感じて欲しい」という部分が印象的でした。様々な人が働ける場所、様々な働き方ができる場所が小林にできるといいなと思います。事業再開して欲しいです(教育関係者)

・就労Bの職員ですが、「ビジネスは職員がすれば良い」という言葉が重く感じました。利用者には事業所でいろいろな武器(特技)を持っていただけるよう頑張ります。(福祉職員)

・成功例と失敗例とあげて話を下さったので、とても分かりやすかったです。農福連携が、うまくいくために何が必要かといういろいろ試しながら、考えている姿が本当に私たちにもつながる部分があると思いました。これからも頑張りたいと思います。(福祉職員)

・人との関わり方は、様々で一番大変なことだと改めて感じました。接し方1つで、大きく変わるので色々失敗もありますが、試行錯誤しながら今後も関わっていきたくと考えさせられました。(福祉職員)

お問い合わせ

にしもろ基幹相談支援センター

TEL:0984-22-2373